仙台ダイバーシティフェスタ2025

いろとりどり

イベント実施報告書

イベント実施概要

イベント名：仙台ダイバーシティフェスタ2025「いろとりどり」

開催日時：2025年11月24日(月・祝) 11:00～16:00
場　　所：せんだいメディアテーク オープンスクエア
（仙台市青葉区春日町2－11）

実施コンテンツ：
① 世界の伝統的な遊びで交流しよう
…留学生から母国の伝統的な遊びを教わりながら交流し「ちがい」を楽しみながら体験してみよう

②アートワークショップ「共生のまち」
…世界各国の伝統衣装や様々な人種などの「ちがい」を感じながら自分オリジナルの人形を制作し、みんなでひとつの“街”を作っていこう

③ 誰でも楽しめる「スクエアボッチャ」
…誰でも楽しめるボッチャ。珍しいスクエアボッチャを会場内にて体験

主　　催：仙台市
企画・運営：(株)宮城テレビ放送
協　　力：東北大学グローバルラーニングセンター、
東北大学公共空間ボッチャプロジェクトDI（DIBO）

チラシデザイン（表面）

コンテンツ実施について　～①世界の伝統的な遊びで交流しよう

世代・国籍を超え、はじめて会った方同士で真剣対決

スペインのCinguillo

留学生が母国から持ってきてくれた本場のマンカラ道具を体験

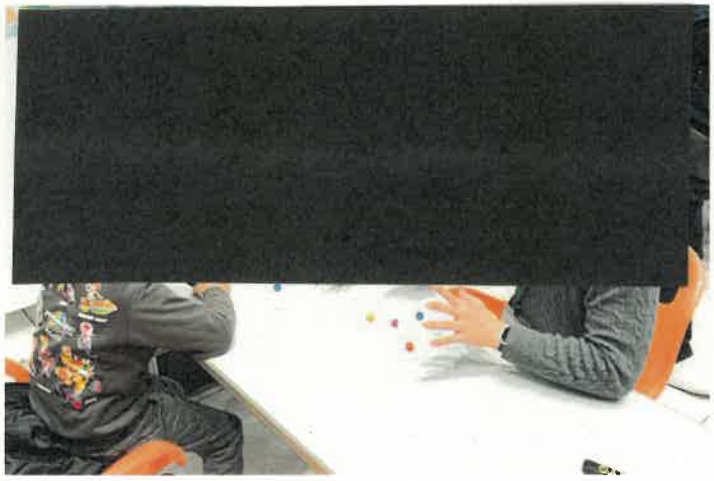
留学生の皆さん、熱心に教えてくださいました

今回、コンテンツとして実施したのは

・マンカラ(インドネシア)
・チャイニーズチェッカーゲーム(中国)
・ Cinguillo(スペイン)
・マークルック(タイ)
・コンギ(韓国)
・お手玉、めんこ(日本)

留学生は東北大学グローバルラーニングセンター様からご紹介いただいた学生の皆さんにお手伝いいただきました。学生は1人1テーブル(4～6名着席)を担当し、来場者に母国の遊びを丁寧に説明してくれました。母国から本格的な遊び道具を持ってきてくれた学生さんも。
国籍も世代も異なる、初めて合う方同士が、勝敗をかけて真剣に話をしたり、大きな声で笑いあったりする光景が広がりました

コンテンツ実施について　～①世界の伝統的な遊びで交流しよう　会場の様子



コンテンツ実施について　～②アートワークショップ「共生のまち」

会場中央に設置された「共生のまち」モニュメント

今回、会場で一際目をひく存在であったのがこの「共生のまち」の巨大モニュメント。

全面にイラストレーター佐久間誉之(さくまやすゆき)氏による、すべてのものを受け入れるやさしさに包まれた“まち”のイラストで飾られたこのモニュメントへ、来場者が制作した人形を飾ることで、イベントの進行とともにひとつのまちが出来上がっていく、そんなイメージで展開しました。

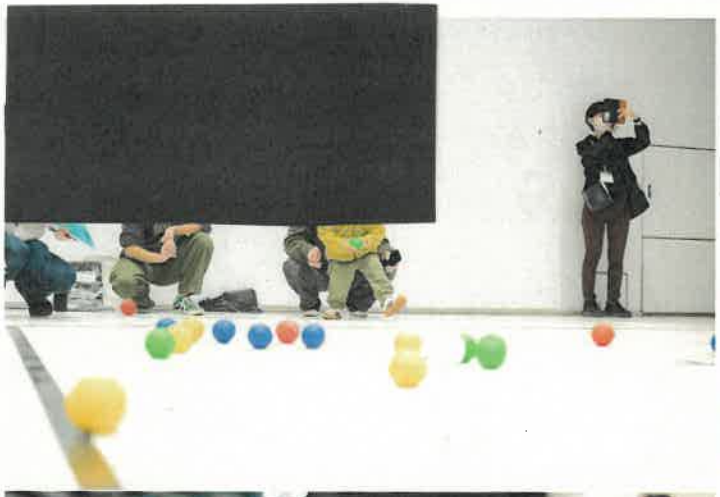
会場入り口側に大きくワークショップスペースを設置。ある程度入口側に大きく開放的なイメージを与えることでイベントスペースへの入りやすさも意識しました。

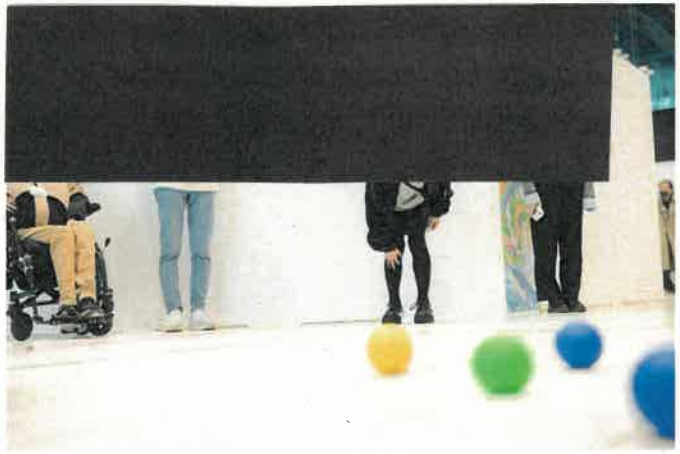
テーブルには様々な画材や世界の民族衣装についての参考文献などを置き、参加者は各国の文化を学びながら、人形を制作できる環境を準備。来場者は、国籍ごとに異なる衣装や肌の色などの「ちがい」を意識しながらも、思い思いに人形を描いている様子でした。

合計198体の人形が
モニュメントに設置されました。

コンテンツ実施について　～②アートワークショップ「共生のまち」 会場の様子

コンテンツ実施について　～③誰でも楽しめる「スクエアボッチャ」





白熱した展開に歓喜とガッツポーズ！楽しそうな声が会場に響きました

子供も大人も障碍者も、だれでも楽しめるスポーツ「ボッチャ」。通常は白色のボールへ向かって赤青の2色のボールを投げてその距離を競いますが、今回は黄色と緑のカラーボールを追加して4色のボールで競う「スクエアボッチャ」のルールにて実施しました。

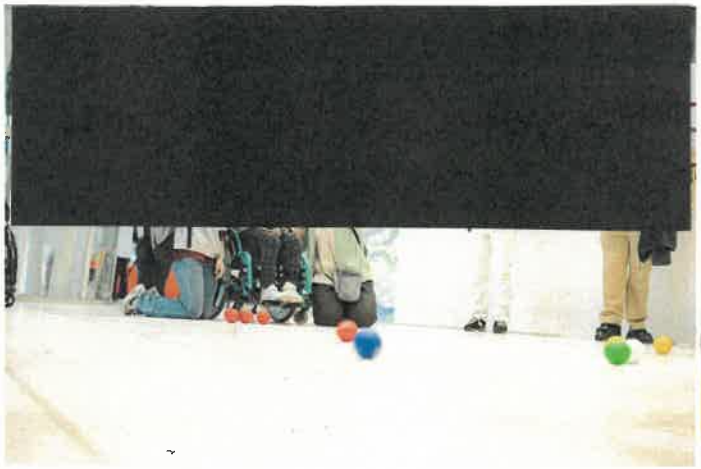
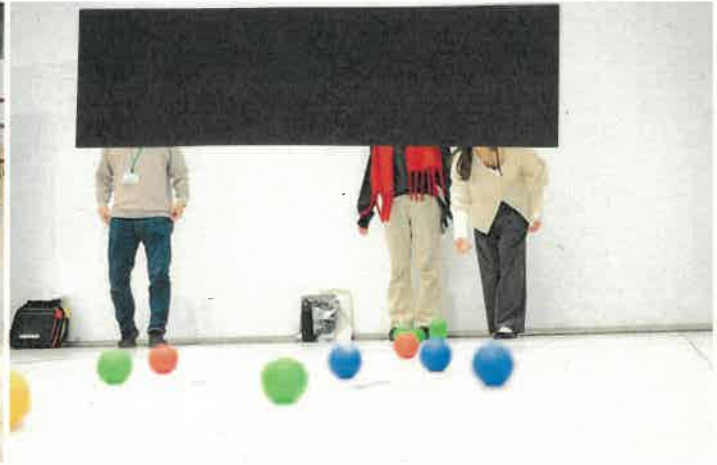
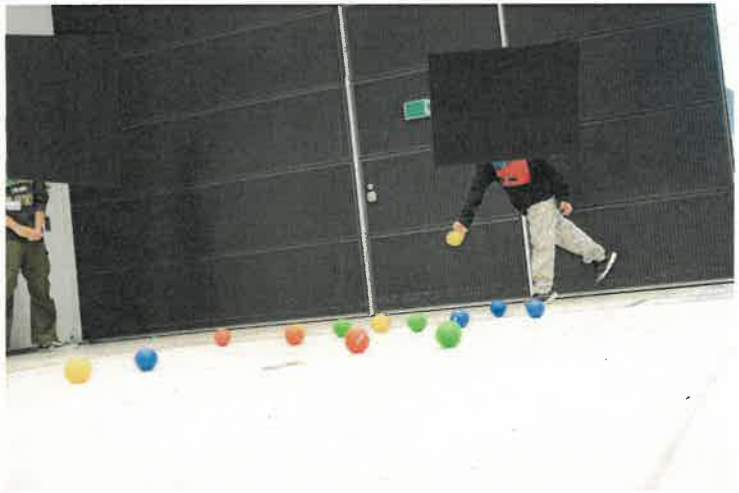
4色のボールを使用することで、コートも2色の際は1方向から投げるところ、四方から投げるスタイルとなり、より多くの来場者の方が一気に競えるかたちで展開することができました。

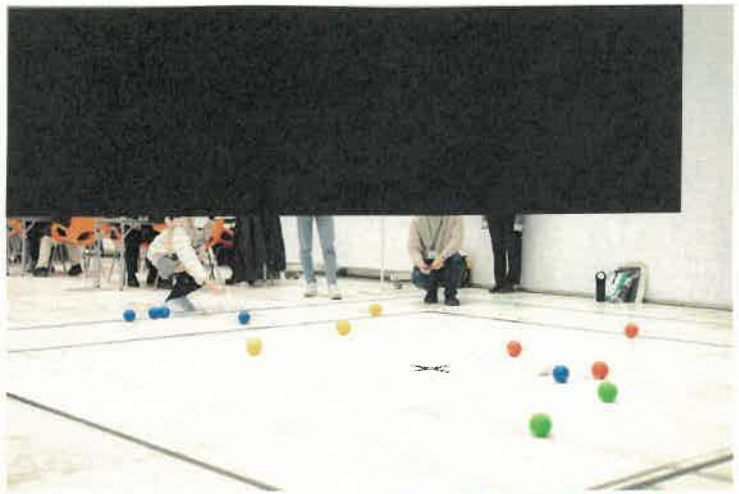
ここでは、東北大学公共空間プロジェクトD＆I（DIBO）の学生たちが運営をボランティアにて行ってくれました。

DIBOの皆さんにとってもこのスクエアボッチャを展開した経験がなかったとのことで、本イベントへむけて運用などを細かく検討して臨んでくださいました。

会場内でも、この「ボッチャ」に」参加する方の声や笑い声が聞こえてきて、常時白熱した試合が展開されていました。何度もトライしてくれた方もいたようです。様々な「ちがい」を持つ人が楽しめるスポーツ空間となりました。

コンテンツ実施について　～③誰でも楽しめる「スクエアボッチャ」 会場の様子



コンテンツ実施について　～アンケート・ノベルティ配布

来場者アンケートも実施。回答いただいた方へノベルティ進呈。

ノベルティは「いろとりどり」なオリジナルエコバッグ。

いろとりどり

仙台市ダイバーシティフェスタ2025「いろとりどり」来場者アンケート

本日はご来場ありがとうございます。
今後のより良いイベントづくりのため、アンケートへのご協力をお願いいたします。

【1】イベントについて聞かせください（任意）

1. 本日のイベントをどのようにしてお知りになりましたか？（複数回答可）
   - □ チラシ・ポスター　□ 仙台市ホームページ
   - □ SNS（X／Instagram／Facebook など）
   - □ 友人・知人からの紹介　□ テレビ　□ その他メディア（新聞・ラジオなど）
   - □ その他
   （　　）
2. お越しいただいたきっかけや目的は？（複数回答可）
   - □ ダイバーシティに興味があった　□ コンテンツが魅力的だと思った
   - □ ダイバーシティという言葉だけは聞いたことがあったが、実際どのようなものか学んでみたいと思った
   - □ こどもと一緒に楽しめそうなイベントだと思った
   - □ その他（　　）
3. イベント全体と参加したコンテンツの満足度、その理由を教えてください。

▸イベント全体
□ とても満足　□ やや満足　□ どちらともいえない　□ やや不満　□ 不満
理由
（　　）

▸コンテンツ①世界の伝統的な遊びで交流しよう！
□ とても満足　□ やや満足　□ どちらともいえない　□ やや不満　□ 不満
□ 参加していない
理由
（　　）

▸コンテンツ②アートワークショップ「共生のまち」
□ とても満足　□ やや満足　□ どちらともいえない　□ やや不満　□ 不満
□ 参加していない
理由
（　　）

（裏面につづく）

▸コンテンツ③「スクエア ボッチャ」体験！
□ とても満足　□ やや満足　□ どちらともいえない　□ やや不満　□ 不満
□ 参加していない
理由
（　　）

4. 全体の雰囲気や会場装飾を含め、特に印象に残った点を教えてください。
（　　）
5. イベントの参加を通して、自身の中に起きた変化や気づきがあれば教えてください。
（複数回答可）
   - □ 考え方や感じ方のちがいを感じることができた
   - □ ちがいがあるまちの面白さを感じた　□ ちがいがあることが良いことだと思った
   - □ 外国の文化を学ぶことができた　□ 留学生との交流が楽しかった
   - □ スポーツを誰もが楽しめるのが良いことだと思った
   - □ ユニバーサルデザインについてもっと知りたいと思った
   - □ その他
   （　　）
6. 仙台市では様々な「ちがい」を活かした「ダイバーシティまちづくり」の取り組みを進めています。イベントを通してダイバーシティまちづくりについて理解できたか教えてください。
   - □ よく理解できた　□ 大体理解できた
   - □ あまり理解できなかった　□ まったく理解できなかった
7. 今後、ダイバーシティに関する参加してみたいテーマを教えてください。（自由記述）
（　　）

【2】ご自身についてお聞かせください（任意）

1. 年代
   □ 10代以下　□ 20代　□ 30代　□ 40代　□ 50代　□ 60代以上
   □ 回答しない
2. お住まい
   □ 仙台市内　□ 宮城県内　□ その他（　　）
3. どなたとお越しになりましたか？
   □ ひとりで　□ ご家族と　□ お友だちと　□ その他（　　）

【3】ご意見・ご感想など（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

※記入いただいた内容は、今後の事業運営の参考にのみ使用し、個人情報は適切に管理いたします。

イベントの様子

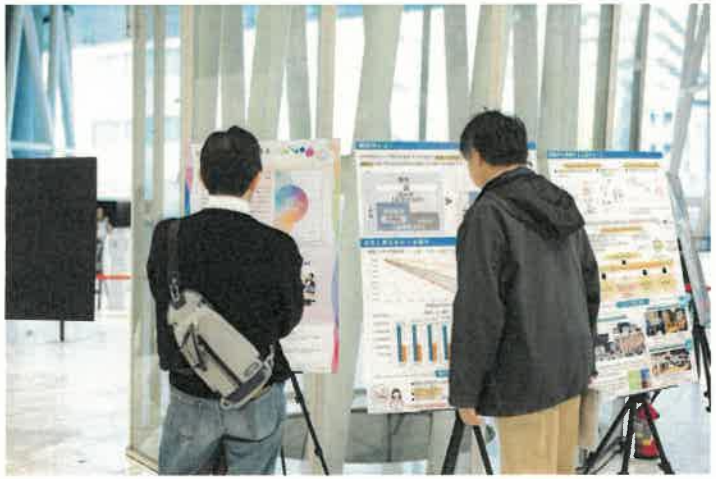
いろとりどり
仙台ダイバーシティフェスタ2025
遊びをとおして
ちがいを楽しむ!
2025
11
24
11:00～16:00
入場無料

入場無料

イベントの様子

イベントの様子

イベントの様子



イベント実施結果

来場者：547名（目標：450名）

収穫点：

・様々な交流の場の実現（同意見回答数：128人）
…来場者と留学生との会話はとても楽しそうであった。また、ボッチャでは障害のある方も子供も関係なく、ゲームは白熱し盛り上がっていた。会場が様々な人の交流と笑顔にあふれていた。

・ワークショップとしての完成度（同意見回答数：126人）
…ワークショップスペースには、自然と国の違いを考えてもらうような本や画材を準備。難しい説明なく、参加者が意図をくみとって、かつ楽しんで参加できていた。

・会場全体の雰囲気づくり（同意見回答数：76人）
…イラストレーターを起用してビジュアル面で優しい世界観を出す効果を狙った結果アンケートなどからも来場者の声「雰囲気が良い」「優しい感じで入りやすい」などの声につながった。
「ちがう」ことを受け入れる寛容さをイメージづけることにつながったのでは。

・中央モニュメントのインパクト（同意見回答数：26人）
…「共生のまち」モニュメントは来場者に大きなインパクトを与えた様子であった。このイベントの象徴として、参加者の記憶に残る効果も高い。

改善点：

・イベント趣旨の説明パネルの不足（同意見回答数：19人）
…全体を説明するパネルがエントランス部分にあっても良かった。

・コンテンツ設置位置・スペースの活用の検討（同意見：2人）
…モニュメントを囲うようにパネルを立てたことで会場入口側から奥側の視認性が悪くなってしまった。また、世界の遊びスペースはもう少し協力していただける留学生を募れればスペースを拡大したかった。